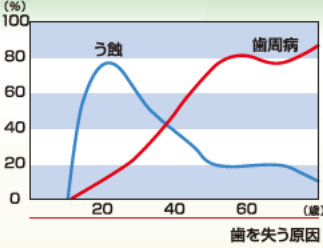


はち まる にい まる 三重の8020

生涯を通じたお口の健康づくり

歯は歯周病で失われます

歯周病で歯を失わないために、歯科医院での定期的なチェックと指導を受けましょう



高齢期のむし歯に注意!!

歯ぐきが下がって、歯の根が露出してくると、新たなむし歯が発生しやすくなります。

訪問歯科診療

介護状態の改善、生活の質の向上

食欲増進 誤嚥性肺炎防止
寝たきり状態の改善

訪問歯科診療

歯ぐきの腫れ	入れ歯が合わない
口の中が汚れている	歯が痛い

歯周病検診

壮年期

作業能率アップは職場の健康管理から

むし歯 歯周病

痛み	噛めない
ストレス	口臭

勤労意欲低下

事業所健診

COを守ろう!!

CO(シー・オー)とは?
初期むし歯の疑いがある歯で、そのまま放置すると、むし歯になってしまう恐れがあります。



喫煙のデメリット

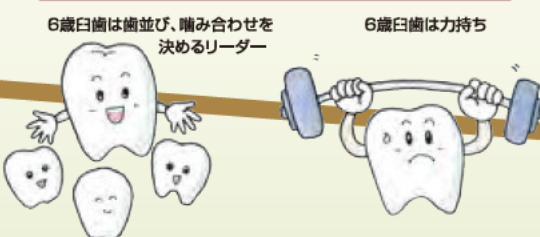
全身への影響はもちろんのこと、**歯周病**になりやすく、治りにくくなります。
未成年の喫煙は、さらにリスクが高くなります

歯肉炎(軽度の歯周病)



歯ぐきが腫れる、出血する。
歯周病は低年齢層から始まります。

6歳臼歯は歯の王様

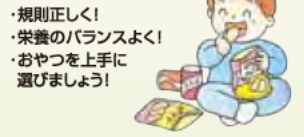


6歳臼歯は歯並び、噛み合わせを決めるリーダー

6歳臼歯は力持ち

学校健診

食育



・規則正しく!
・栄養のバランスよく!
・おやつを上手に選びましょう!

乳離れはあせらずに

噛む力は、おっぱいを一生懸命に吸うことによってついてきます。

むし歯予防にはフッ素を



フッ素塗布

フッ素漱口

3歳児健診

育児相談や情報交換の場としても活用しましょう。

乳児期

1歳6か月児健診

むし歯の検査もしますが、将来むし歯になりやすいかどうか判断します。



あごはややひいて

45度位

胎生期

歯科治療に不安を抱かずに



妊娠に伴う口腔内の環境の変化によって、むし歯や歯肉炎が起こりやすくなります。

よい歯の赤ちゃんを目指しましょう



妊娠中は、赤ちゃんの歯の芽ができる大切な時期です。永久歯も、妊娠3~4か月ごろからできています。



登山口

年に2回は定期健診を受けましょう!